

千葉県議会議員

市原あつし
いちはら

県政レポート

□ ごあいさつ □ トピックス □ 活動報告 □ 議会報告

[vol.006]

ごあいさつ

令和3年6月千葉県議会が閉会しました。一般会計で1,857億1,900万円の6月補正予算案など36議案を可決されました。今議会では、正副議長の選出や各常任委員会の正副委員長が選出されました。また最終日には八街市において児童が犠牲になった痛ましい飲酒運転事故を受けて緊急対策の追加提案も即日可決されました。このような悲しい事故の再発を防止する為には、あらゆる対策を継続して取り組まなければなりません。今回、県内の通学路の緊急点検、また飲酒運転撲滅に向けての対策も盛り込まれました。この対策で終わらず、引き続き安全対策を講じていくように県に対して働きかけていきます。



TOPICS

6月定例議会で 予算委員会質問に登壇!

令和3年6月定例県議会の予算委員会で質問いたしました。質疑については中面でご報告いたします。

活動報告

議会・委員会での質問の内容や、その他活動についてご報告いたします。

— 本会議への参加

4月：臨時県議会（4月20日）

6月：定例県議会（6月17日～7月13日）

— 委員会への参加

6月：定例県議会予算委員会（7月5日～7月6日）

6月：定例県議会健康福祉常任委員会（7月8日）

6月の定例議会での質問内容は、中面の「議会報告」で掲載しております。そちらもぜひご覧ください。

[開いて中面へ ▶](#)

令和3年6月予算委員会 質疑



産業廃棄物不法投棄問題

全国各地において産業廃棄物不法投棄の問題を抱えている。茂原市においても産業廃棄物の不法投棄の山がゴミ山問題として地域より要望を受けている。国と産業界が積み立てた基金を活用しながら、撤去を推進すべきと考える。

(質問) 市原

千葉県内の不法投棄の件数とその規模、指導により事業者が処理した件数の推移はどうか？

(回答) 廃棄物指導課長

県内の10トン以上の産業廃棄物の不法投棄は、令和元年度に24件、5,791トン発生している。本年6月末現在で、その内の17件が行為者等により全量撤去されている。同様に平成30年度には18件、64,500トンの不法投棄が発生し、内13件が全量撤去されている。

(質問) 市原

新たな不法投棄の防止対策は何を行っているか？

(回答) 廃棄物指導課長

早期発見・早期対応を図るため、**24時間・365日体制**により、県民からの通報を受付・監視パトロールを実施している。また市町村との連携を図っている。

(質問) 市原

産業廃棄物処理事業新興財団の基金を利用した行政代執行の件数はどうか？

(回答) 廃棄物指導課長

基金制度が発足した平成10年6月以降、行政代執行を実施した21件のうち、8件について基金からの支援を受けている。

要 望

基金については、国において、支援額の絞り込みなど、今後の支援の在り方について検討されていると聞いているが、**今後も処理が必要な箇所に関しては、更に進めていただきたい。**

一宮川流域治水に関して

一宮川水系流域治水プロジェクトの推進が図られているが、毎年異常気象がもたらす自然災害は後を経たず、地域住民に取っては一日も早く安心して暮らせるプロジェクトの完了が待たれるところである。

(質問) 市原

今議会で上程されている工事の概要と工事着手及び完了見込みはどうか？

(回答) 河川整備課長

一宮川の**鶴枝川合流点から豊田川合流点までの約4.1キロメートル**区間において、河道断面を拡大のため、河道掘削及び護岸整備を行う。**令和6年12月の完成**を予定している。

(質問) 市原

流域治水プロジェクトの河川整備は、確実に実行されていると承知しているが、流域対策(ソフト対策)の取り組み状況はどうか？

(回答) 河川整備課長

地域に応じた流域対策等の検討を進めていくため、市町村部会を設置することとしている。**5月下旬に第1回の茂原市部会、長柄町部会、長南町部会**を開催し、具体的な**雨水貯留対策**などの検討に着手したところであり、今後、残る市町村部会についても、順次開催していく。

要 望

流域治水プロジェクトの推進にはハードソフト両面の対策を効率よく進めていく必要がある。それには流域の関係市町村や関係者等の合意が重要。ぜひ県においては連携を強力にいただき、着実にプロジェクトの推進をしていただくよう要望する。

健康福祉常任委員会 質疑

地域医療勤務環境改善体制整備事業について

(質問) 市原

令和6年4月より**医師に対する働き方改革**が行われると聞いている。そこで地域医療勤務環境改善体制整備事業のねらい、目的は何か。

(回答) 医療整備課長

令和6年4月からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始、それまでの間に、地域での医療提供体制を確保しつつ、医師の労働時間短縮を強力に進めていくための事業である。

(質問) 市原

補助対象になるのはどのような医療機関か。

(回答) 医療整備課長

救急搬送件数が1,000件以上2,000件未満の救急医療機関や、周産期医療、小児救急医療など、地域医療において特別な役割を果たしている医療機関、在宅医療において特に積極的な医療を担う医療機関を補助対象として想定している。

(質問) 市原

令和6年度の上限規制の適用に向け、県はどのように医療機関が行う取組みについて支援していくのか。

(回答) 医療整備課長

勤怠管理システム等のICT機器の導入や、医師事務作業補助者の導入などの総合的な取組を促していく。また**千葉県医療勤務環境改善支援センター**を通じて支援を行い、医師の勤務環境を改善しつつ、地域に必要な医療提供体制の確保を図っていく。

要 望

地元の山武長生夷隅医療圏においては、特に医師が少ない地域であるので、働き方改革で上限規制ができると、更に医師不足に陥る事が予想される。医師の労働時間の短縮が支障とならないよう、しっかり支援してほしい。

新型インフルエンザ対策に係る備蓄用治療薬について

新型インフルエンザのパンデミック対策として治療薬の備蓄がされている。今回の契約では有効期限切れによる新たな購入費4億39万4,500円の契約金額が計上されている。

(質問) 市原

薬剤の取得の相手方が薬品卸会社ではなく製薬会社と直接になっているがこれはなぜか？

(回答) 薬務課長

行政備蓄用タミフルは市場流通用とは製品包装や供給価格が異なり、製造販売業者と直接販売している。行政備蓄用として市場流通させないことや他の目的に使用しないという条件の下、安価に購入できる。

(質問) 市原

有効期限の切れる10年ごとに4億円以上の物が廃棄の繰り返しとなるが、取引相手を卸業者に市場流通をしながら備蓄をする検討はしているのか。

(回答) 薬務課長

通常の市場価格だとタミフルで2億円ほど多く必要となることから、現状の備蓄方法で確保している。一方で在庫を回転させることで都道府県の負担は軽減されると考えられ、備蓄のあり方はより効果的になるよう全国知事会で国に要望している。

要 望

国においても廃棄が問題となり、ジェネリックの検討や保存の方法を原薬で保存し有効期限を延ばすなどの工夫がされている。県においても卸を通して市場流通させながら備蓄を行えば、結果的には安価で済むと考えられるので、卸・メーカーと協議して良い方向に進むことを要望する。

一宮川の河川改修事業について

一宮川の河川改修の詳細は、一宮川改修事務所が発行する「一宮川流域通信」でご確認いただくことができます。



その他の活動報告

県議会外での活動について、ご報告いたします。

— 国産マスク「JAPAN99」を寄付していただきました

以前、私が視察させていただいた鳥取県のマスクミュージアム株式会社様より申し出をいただき、国産マスク「JAPAN99」という高性能マスクを約1,400枚を茂原市に寄附していただきました。

このマスクは、N95マスクよりも優れている点が多く、個別包装で15年間保存が可能とのことで、備蓄としてもより安全性が高められたマスクです。

今後もさまざまな人・モノとの繋ぎ役として、千葉県と茂原市と結んでまいります。



— 柴名・上太田地区の田んぼダムを視察

浸水被害軽減のために有効といわれる田んぼダムですが、残念なことに千葉県内ではまだほとんど行われていない取り組みです。しかし茂原市内においては先駆けて3地区で実施されていることをご存知でしょうか？今回はその3地区の中から柴名・上太田地区を視察させていただきました。

この取り組みが広がれば、浸水被害対策の効果がより得られると考えますので、さらに加速できるよう活動してまいります。



— その他の視察先など



視察(長生の森公園)



要望により時計設置
(長生の森 ゲートボール場)



視察(赤目川)



市原あつし事務所

TEL 0475-36-7775

〒297-0022 千葉県茂原市町保7
info@ichihara-atsushi.jp

市原あつし公式WEBサイト

<https://www.ichihara-atsushi.jp>

市原あつし で 🔍 検索



Facebook

市原あつし

で 🔍 友達検索

